

第1章 公共用水域（河川、湖沼及び海域）の水質測定結果

I 調査の概要

- 1 期間（頻度） 平成25年4月から平成26年3月まで（年1～12回）
- 2 調査地点 県内公共用水域（河川、湖沼及び海域）
- 3 調査機関 鳥取県、国土交通省、鳥取市、米子市、倉吉市、八頭町、伯耆町
- 4 調査項目

生活環境項目	11項目	BOD、COD、全窒素、全磷等
健康項目	27項目	カドミウム、全シアン、鉛等
要監視項目	29項目	農薬、全マンガン、ウラン等
特殊項目	3項目	銅、亜鉛、鉄（溶解性）
その他項目	10項目	塩化物イオン、アンモニア態窒素等

II 調査結果の概要

1 生活環境項目

主要な河川、湖沼および海域における調査結果及び環境基準達成状況は、次のとおりであった。

表1-1 BOD、CODの状況

	水系	BOD 又は COD (mg/L)		汚濁の目安*2
		年平均値	75%値*1	
主な 一級河川	千代川水系（4河川13地点）	<0.5~0.8	<0.5~0.9	清浄
	天神川水系（4河川12地点）	<0.5~0.6	<0.5~0.6	清浄
	日野川水系（3河川13地点）	0.6~0.9	<0.5~1.2	概ね清浄
主な 二級河川 8河川	蒲生川他4河川（15地点）	<0.5~0.9	<0.5~1.0	清浄
	勝部川（5地点）	0.5~1.9	<0.5~1.9	概ね清浄
	塩見川（3地点）	0.6~2.0	0.5~2.7	やや汚濁
	河内川（3地点）	0.7~1.5	0.7~2.2	やや汚濁
都市河川	袋川（鳥取市）（8地点）	0.7~3.5	0.8~5.1	汚濁
	玉川（倉吉市）（5地点）	0.6~0.7	0.5~0.8	清浄
	旧加茂川（米子市）（5地点）	0.7~1.0	0.7~0.9	清浄
湖 沼	湖山池（4地点）	6.1~6.7	7.2~7.9	汚濁
	東郷池（4地点）	5.7~6.0	5.6~6.0	汚濁
	中海（9地点）	2.2~5.2	2.6~5.6	汚濁
	多鯨ヶ池（3地点）	3.7~4.2	3.7~4.0	やや汚濁
海 域	美保湾（8地点）	1.0~1.9	1.2~2.3	概ね清浄
	日本海沿岸海域（8地点）	1.1~1.3	1.2~1.5	清浄

表1-2 全窒素及び全磷の状況

	水系	全窒素 (mg/L)	全磷 (mg/L)	汚濁の目安*2
		年平均値*3	年平均値*3	
湖 沼	湖山池（4地点）	0.80~1.2	0.12~0.19	富栄養化
	東郷池（4地点）	0.55~0.61	0.056~0.064	富栄養化
	中海（8地点）	0.31~0.65	0.035~0.070	富栄養化
	多鯨ヶ池（3地点）	0.46~0.50	0.017~0.020	富栄養化

※1 BOD（河川）及びCOD（湖沼及び海域）は75%値で評価を行う。（75%値は、年間のy個の日間平均値の全データを値の小さいものから順に並べた場合の（y×0.75）番目の数値）

※2 汚濁の目安は、環境基準類型を参考にして分かりやすい文言で表現したもの。

※3 湖沼に係る全窒素及び全磷は、表層の年平均値で評価を行う。

表 1 - 3 環境基準の達成状況

水域			環境基準		基準値	達成状況
			あてはめ類型	環境基準地点数		
河川	千代川	上流	AA	3 地点	BOD 1 mg/L 以下	達成
		下流	A	2 地点	BOD 2 mg/L 以下	達成
	天神川	上流	AA	2 地点	BOD 1 mg/L 以下	達成
		下流	A	2 地点	BOD 2 mg/L 以下	達成
	日野川	上流	AA	3 地点	BOD 1 mg/L 以下	達成
		下流	A	2 地点	BOD 2 mg/L 以下	達成
湖沼	湖山池		A	4 地点	COD 3 mg/L 以下	未達成
			III	4 地点	全窒素 0.4mg/L 以下 全磷 0.03mg/L 以下	未達成 未達成
	東郷池		A	4 地点	COD 3 mg/L 以下	未達成
	中海		A	3 地点	COD 3 mg/L 以下	未達成* ¹
			III	3 地点	全窒素 0.4mg/L 以下 全磷 0.03mg/L 以下	未達成* ¹ 未達成
	海域	美保湾	境港外港港湾 計画水域	B	1 地点	COD 3 mg/L 以下
その他の水域			A	7 地点	COD 2 mg/L 以下	未達成* ²
日本海沿岸海域		A	8 地点	COD 2 mg/L 以下	達成	

※1 1 地点（境水道中央部）では環境基準に適合

※2 境港市昭和町境港防波堤灯台の北方 0.2 km 以外の 6 地点では環境基準に適合

2 健康項目

ほう素について、計 11 地点（湖山川 2 地点、蒲生川 1 地点、河内川 1 地点、湖山池 4 地点、中海及び境水道 3 地点）が環境基準を超過していたが、いずれも海水の影響を受ける調査地点であり、海水に含まれるほう素の影響を受けたものと考えられる。

その他の項目は環境基準に適合していた。

3 主な地点の経年変化（直近 10 年間）

（1）河川（千代川、天神川及び日野川）

BOD については、全体的におおむね横ばいである。

（2）湖沼（湖山池、東郷池及び中海）

COD については、湖山池及び東郷池でやや上昇傾向、中海で横ばいである。

全窒素については、湖山池で上昇傾向、東郷池及び中海で横ばいである。

全りんについては、湖山池及び東郷池で上昇傾向、中海で横ばいである。

（3）海域（美保湾及び日本海沿岸）

COD については、全体的におおむね横ばいである。

4 各種集計表

その他、測定結果及び経年変化の詳細は、表 2～4 のとおりである。

表 2 水系別環境基準適合状況

表 3 主な地点の水質経年変化

表 4 地点別総括表